

## 地元 **7割** が建設反対



一般質問する中原議員  
=21日、本会議

本会議(9月21日) 中原ひろみ議員の一般質問

9月21日の広島市議会本会議で、日本共産党の中原ひろみ議員(南区)が会派を代表して一般質問に立ち、原爆の内部被ばく、子どもの医療費無料化、高速5号線の二葉山トンネル建設計画などについてとりあげました。

二葉山トンネルについては道路交通局長が「地元で細かく説明して工事に入りたい」と住民の強い反対を押し切って工事を進める姿勢に終始。中原議員は「二葉山の環境を守るため、地元町内会の住民の7割が工事中止を求める署名を提出している。かつて地元の合意が得られず中止した事例(川内土地区画整理事業)もある」と述べ、地元の意向を重く受け止めて計画を中止するよう訴えました。

### 内部被ばくの調査研究 「研究機関に働きかける」と市長が表明

中原議員は被爆都市ヒロシマの責務にふれ、「原爆症認定集団訴訟などで内部被ばくによる障害の研究が重要性を増している。原爆被害の実相の重要な分野として調査研究すべき」と求めました。

答弁に立った秋葉忠利市長は、「原爆症認定訴訟において、初期放射線量のみでなく、残留放射線など低線量の放射線による外部被ばくやホコリの吸引等による内部被ばくの影響を慎重に検討しなければならないとの判決が出ている」と述べ、低線量被ばくや内部被ばくの調査研究の必要性について研究機関等に働きかけていく考えを示しました。

市答弁で明らかに

### 子どもの医療費 国が就学前まで見れば、小学校卒業まで無料にできる

全国47都道府県で何らかのかたちで実施されている「子どもの医療費無料化」について、国は医療費増加の要因となるとの理由から、国民健康保険事業において国庫支出金を減額する「減額調整措置」というペナルティーを科しています。市答弁によると、広島市の場合、その影響額は過去5年間で約2億円にものぼります。

中原議員は、国の責任で「子どもの医療費」を就学前まで無料にした場合、広島市が現在支出している乳幼児医療費補助の財源を小学校就学以降の年齢に充てると何歳まで無料化できるのか質問。社会局長は、「国が就学前まで無料化した場合、07年度予算ベースで一般財源約13億6千万円が不要になる。これを財源にすれば、概ね小学校卒業程度までの児童の医療費を無料化できる」と答えました。



# 福木トンネルで地盤沈下！

高速1号線

あやまちを  
くり返さないで

# 二葉山トンネルでは自然破壊も！

高速5号線



## 建設委員会(9月26日) 村上あつ子議員の質問

9月26日の広島市議会・建設委員会で、日本共産党の村上あつ子議員(東区)は深刻な地盤沈下被害が広がっている高速1号線・福木トンネル、自然環境や住環境への影響が懸念され地元で強い反対がある高速5号線・二葉山トンネルについて質問しました。

## 「地下調査早く」地盤沈下への高まる不安に早く答えて — 福木トンネル

高速1号線・福木トンネル工事による地盤沈下は、馬木8丁目で一層深刻になっており、とりわけ大谷川沿いでは家屋のブロック塀や石垣などの倒壊が心配されるほどです。

村上議員は、「住民のみなさんは目では確かめようがない地下の調査を急いでほしいと切に願われている。この思いに早く応えてほしい」と要望。市は「床下等の調査をし、建築士と協議し補償を検討していく」と答えました。

村上議員は、建替えや移転を検討せざるをえない家屋もあると指摘し、住民が納得できる補償を求めましたが、市から明確な回答はありませんでした。



石垣の修復工事

石垣の巨大な隙間  
(馬木地域の家)

## トンネル掘っても「何も影響ない」と言い切れるのか — 二葉山トンネル

トンネル建設が予定されている二葉山には、市も絶滅危惧に指定しているシリブカガシの貴重な群生林が日本一の面積で広がっています。ところが、市は「シリブカガシの根は最長3メートル程度。トンネルを掘って地下水位が下がっても枯れることはない」という考えです。

これに対し村上議員は、日本の滝百選にも選ばれている大阪屈指の名勝、「箕面の滝」がトンネル工事による地下水位の低下で枯れてしまった例などを紹介し、「トンネルを掘っても何の変化もないことはありえない。二葉山の東照宮の名水もなくなってしまう。このまま工事を着工してとりかえしのつかないことになる前に、地質の再調査をすべき」と訴えました。

しかし、市は「これまで調査に巨費を投じてきた。新たな調査はできない」との姿勢に終始。村上議員は「住民合意が得られるまでは事業を進めてはならない。予算もつけるべきでない」と主張しました。